

GAP 認証取得により経営改善の効果が期待できる

福島県農業総合センター 企画経営部 経営・農作業科

部門名 その他－その他－その他

担当者 松崎俊、作田善紀、岡本和夫、芳賀三千代

I 新技術の解説

1 要旨

GAP 認証取得による農業経営への効果を明らかにするため、認証取得経営体へのアンケート及び聴取調査を実施した。その結果、法人経営体や個別出荷の経営体で、GAP 認証による経営改善効果がより高いことが明らかになった。

- (1) GAP 認証取得による経営改善効果は、「衛生管理への意識」や「農作業安全意識の改善」、「従業員の責任感・自主性の向上」で高かった(表1)。一方、「帳票等作成に手間がかかる」、「消費者の理解が不十分」、「認証の取得・維持・更新費用」が問題・課題とする回答が多かった。
- (2) 「販路の拡大」や「販売単価の安定・向上」において、認証継続年数が経過するほど改善効果が高まる傾向が見られた(図1)。
- (3) 経営形態別にみると、個人経営と比べ法人経営で6項目について10ポイント以上改善効果が高く、認証品目の出荷方法別にみると、共同出荷よりも個別出荷では7項目について10ポイント以上改善効果が高かった(表2)。
- (4) 個別出荷の経営体や認証取得により輸出に取り組む経営体において、販路開拓の方策としてGAP 認証を活用することで、販売単価の向上にもつながった事例が見られた(表3)。

2 期待される効果

- (1) 新規認証取得者の掘り起こしや支援策の立案への活用により、GAP 認証の取得促進につながる。

3 適用範囲

- (1) GAP 認証取得を支援する農業団体・行政等担当者

4 普及上の留意点

- (1) GAP 認証取得に当たっては補助事業が活用可能である。

II 具体的データ等

表1 GAP 認証による改善効果・問題点又は課題

主な項目	2022年	2024年
改善効果(%) ^{※2}		
衛生管理への意識	82.0	81.8
農作業安全意識の改善	81.2	79.0
従業員の責任感・自主性の向上	66.0	73.0
問題点又は課題(%) ^{※3}		
帳票等作成に手間がかかる	69.3	75.1
消費者の理解が不十分	67.6	78.4
認証の取得・維持・更新費用	44.9	55.2

※1 2022年(回答数447件)及び2024年(回答数179件)アンケート結果。

※2 改善効果に関する質問項目は、2022年は20問、2024年は15問。

「改善・やや改善・変化なし・やや悪化・悪化」の5段階評価。

改善効果は「改善・やや改善」の割合。

※3 問題点又は課題に関する質問項目は7問。

2022年は「問題・やや問題・どちらとも言えない・あまり問題ではない・問題ではない」の5段階評価、2024年は「課題・やや課題・どちらとも言えない・あまり課題ではない・課題ではない」の5段階評価。

問題点又は課題は「問題・やや問題」(2022年)、「課題・やや課題」(2024年)の割合。

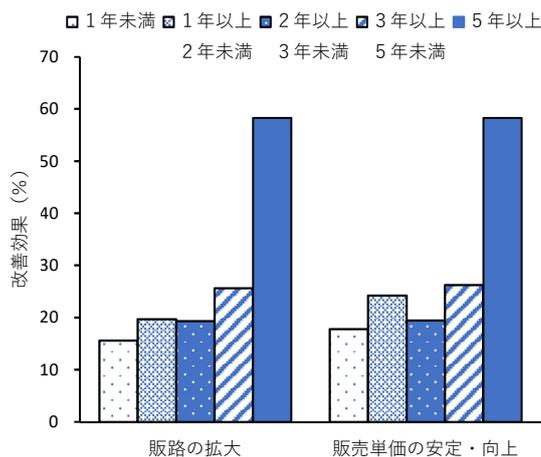


図1 GAP 認証継続年数別の改善効果

※1 2022年(回答数447件)アンケート結果。

※2 改善効果は「改善・やや改善」の割合。

表2 経営形態別・出荷方法別の改善効果

主な項目	全体	改善効果(%) ^{※2}		出荷方法 ^{※3}	
		個人経営	法人経営	共同	個別
販路の拡大	32.2	30.7	32.5	25.0	40.3
クレーム数の減少	19.0	12.5	26.5	16.7	22.2
単収の向上	24.7	21.6	25.3	19.0	31.9
エネルギーコストの削減	20.2	12.5	26.8	15.5	25.4
作業の効率化・作業遅延の減少	40.0	33.7	44.6	34.5	45.8
環境への配慮	75.4	75.3	74.7	71.4	81.9
農作業安全意識の改善	79.0	74.4	83.1	74.1	87.5
農作業事故・ヒヤリハットの減少	69.7	70.8	67.5	65.5	77.8
従業員の責任感・自主性の向上	73.0	61.3	77.9	75.5	74.0
従業員の人権に対する配慮	55.9	45.2	58.4	51.0	60.0
従業員の定着率	28.4	16.7	31.6	18.4	39.6

※1 2024年(回答数179件)アンケート結果。

※2 改善効果は「改善・やや改善」の割合。

※3 「共同」は系統出荷や組合等での共同出荷、「個別」は卸業者や小売店等への個別出荷。

太字は経営形態別、出荷方法別にそれぞれ比較したとき10ポイント以上差のあった項目。

表3 聴取調査の結果概要

	経営体①	経営体②	経営体③	経営体④
経営形態	法人	個人	個人	法人
認証GAPの種類 ^{※2}	G, A, J	G, A	J, F	J
認証区分・品目	個別・青果物	個別・青果物	個別・穀物	個別・穀物
初回GAP取得年	2013年	2016年	2020年	2019年
主な出荷方法	個別	共同	個別	個別
GAPによる効果及び変化	・各種記録をもとにした経営改善 ・在庫管理によるコスト削減 ・従業員教育への活用 ・販路拡大(輸出含む)及び販売単価向上	・販路拡大(輸出含む)及び販売単価向上 ・衛生管理の意識づけ ・農作業安全への意識向上 ・従業員への指示出しへ利用	・販路拡大及び販売単価向上(「福笑い」栽培により) ・農作業安全への意識向上 ・農作業安全への意識向上 ・在庫管理の意識向上	・販路拡大及び販売単価向上 ・農作業安全への意識向上 ・従業員間の情報共有
効果等が表れた時期	不明	認証取得2年目頃から	認証取得1年目から	認証取得1年目から
認証GAPの課題	・特になし	・帳票等の作成 ・認証に係る費用 ・審査対応に係る負担	・帳票等の作成 ・認証に係る費用 ・審査対応に係る負担	・帳票等の作成 ・消費者の認知度の低さ

※1 2024年聴取調査結果。

※2 G: GLOBAL G.A.P.、A: ASIAGAP、J: JGAP、F: FGAP。

III その他

1 執筆者

松崎俊

2 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和4～6年度

(2) 研究課題名 第三者認証GAP等取得促進事業

3 主な参考文献・資料

(1) 若林勝史・田口光弘, GAP 導入農場における農場管理の実態と経営改善効果 - GAP 導入による経営改善効果に関するアンケート調査結果 -, 2013年